

第 51 回 岐阜大学フォーラム

『21世紀日本と 世界の医療』

と き: 6月1日(金) 16:00-17:15

ところ: 岐阜大学講堂

2019年日本医学会総会会頭

独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター名誉院長

齋藤 英彦 氏



医療の役割は、人々の健康の向上を助け、疾病の予防、診断、治療により健康長寿を実現することである。

本日は医療を二つの面から見てみたい。第一は、日本を始めとする医療の現状と課題である。時代とともに変

化する人口構成、疾病の種類と医療技術の発展により、医療は大きく変わりつつある。医療提供制度は国民が拠り所とする最も重要な社会保障制度であるが、国の経済力により影響をうけることを免れない。今後の超高齢・人口減少社会での医療のあり方を議論することは重要である。本講演では、我が国の医療の現状と直面する課題、欧米各国の医療提供制度の比較、私の経験した日米医療の相違、人々の健康に影響する医療以外の社会的要因 (social determinants of health) につき考えてみたい。

そして第二には、21 世紀に実現することが期待される革新的医療技術 (特に現在注目されている iPS 細胞を中心とする再生医療) について紹介したい。

(ご略歴は裏面をご覧ください)

Forum @ Gifu-U.

齋藤 英彦（さいとう ひでひこ）

2019年日本医学会総会会頭

独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター名誉院長

- 1963年 名古屋大学医学部卒業
- 1968年 名古屋大学大学院医学研究科修了（医学博士）
- 1976年 米国 Case Western Reserve 大学医学部内科 Assistant Professor
- 1979年 米国 Case Western Reserve 大学医学部内科 Associate Professor
- 1982年 佐賀医科大学教授（内科学）
- 1984年 名古屋大学教授（内科学第一講座）
- 1991年 名古屋大学医学部長 併任（～1995年まで）
- 1998年 名古屋大学医学部附属病院長 併任（2000年まで）
- 2001年 国立名古屋病院（国立病院機構名古屋医療センター）院長
- 2002年 名古屋大学名誉教授
- 2006年 JR 東海総合病院（名古屋セントラル病院）院長（～2011年まで）
- 2006年 国立病院機構名古屋医療センター名誉院長

●主な表彰歴

- 2000年 第53回 中日文化賞
- 2005年 第38回 東海テレビ文化賞
- 2015年 平成27年春の叙勲 瑞宝中綬章